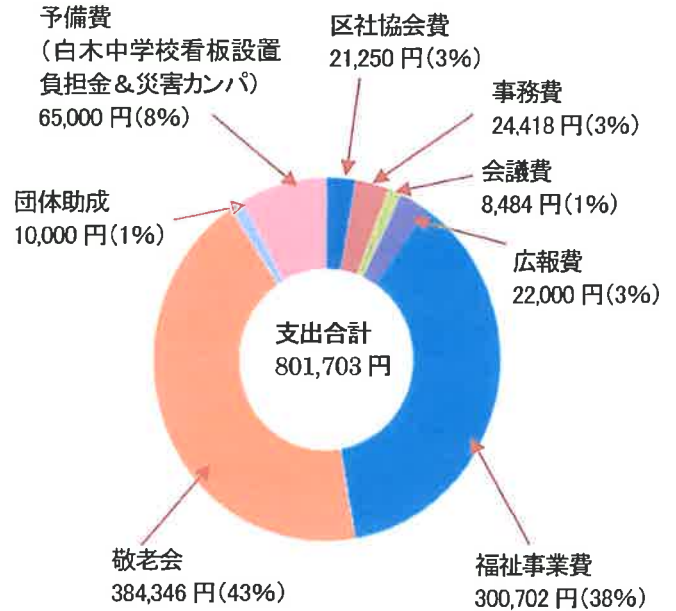
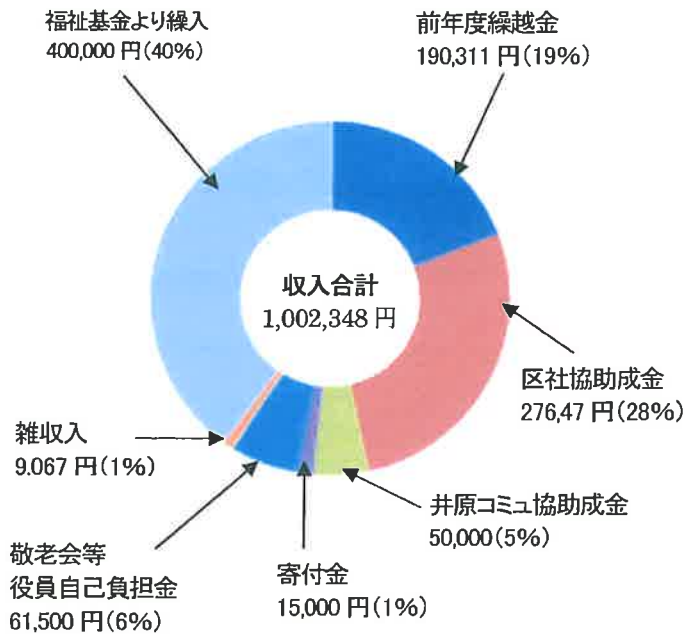


平成27年度 収支決算報告



- | | |
|----------------|----------|
| 会長 (NPOマル愛代表) | 沼崎 洋三 |
| 副会長 (自治連代表) | 山縣 利典 |
| 副会長 (民生児童委員代表) | 佐々木勝規 |
| 副会長 (福祉委員代表) | 堀元大三郎 |
| 事務局長 | 奥 秀信 |
| 地域福祉推進委員 | 土肥 亀 |
| 会計 (一般) | 佐々木正枝 |
| 会計 (特別) | 佐久間和枝 |
| 監査 | 加藤 治美 |
| 監査 | 橋本千賀子 |
| 顧問 | 中川 康信 |
| 【理事】 | |
| コミュ協代表 | 佐々木 恒 |
| 体協代表 | 中野 康範 |
| 自主防災代表 | 坂川 巖 |
| 女性会代表 | 廣畑 澄子 |
| 老人クラブ連合会 | 代表 土井 道弘 |
| 青少協代表 | 佐久間義輝 |
| 子ども会代表 | 中村 成伸 |
| 公衛協代表 | 池岡 正康 |
| 防犯組合代表 | 平岡 明彦 |

平成28年度 役員および理事・福祉委員

地区福祉委員の皆さんです。困ったときは、気軽に声を掛けてください。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|-----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 甲田 市川 良子 | 小田 高磨真 佐子 | 日詰 佐々木八千代 | 戸石 中村 宣義 | 新宮 島津 紀子 | 迫田 光宗 美穂 | 沼 大西 和彦 | 中東 佐久間和枝 | 明神 神崎 真一 | 高瀬 丸川 利則 | 江地 佐高三枝子 | 見張 土肥 亀 | 大寺上 谷川 啓治 | 大寺下 鳴戸 洋之 | 山根 渡辺 昭則 | 中市 宮本 昭南 | 中市 戸崎 武彦 | 上市二 石川 弘司 | 上市一 大道 和哉 |
|----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|-----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|

【福祉協力員】

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 三苫 明子 | 有田 寿子 | 橋本千賀子 |
|-------|-------|-------|

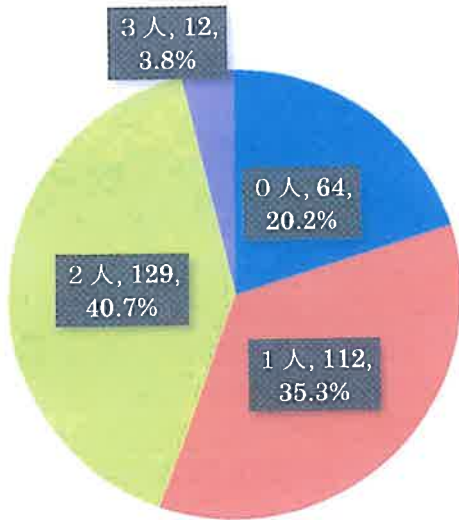
空席だった福祉委員代表の副会長が新規就任、老人クラブ連合会代表が交代されました



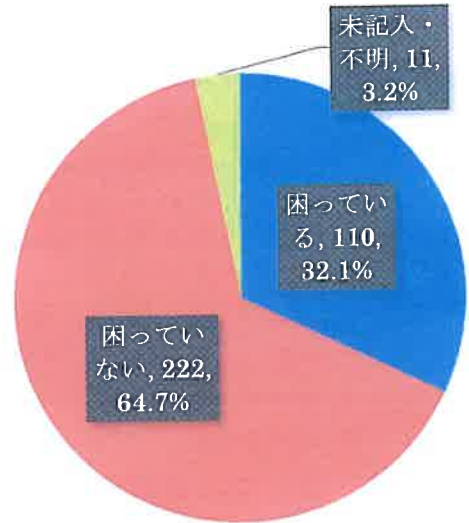
井原地区交通課題アンケート結果（一部）

各グラフとも項目、回答数、%の順

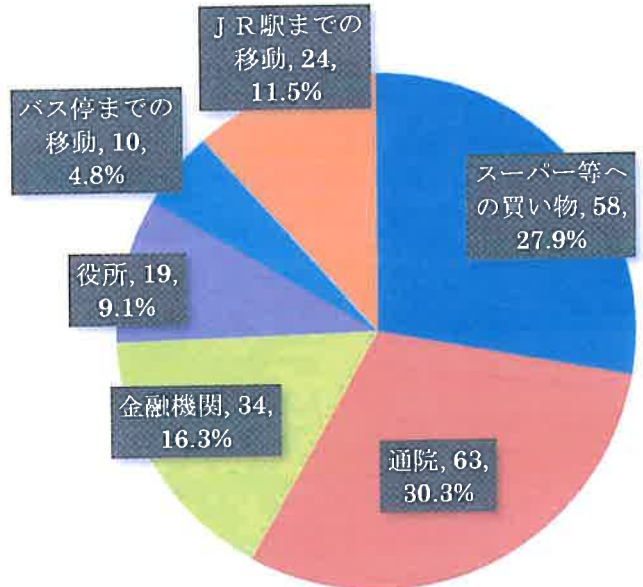
世帯の中で65歳以上の人数



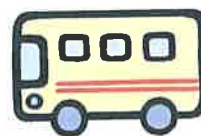
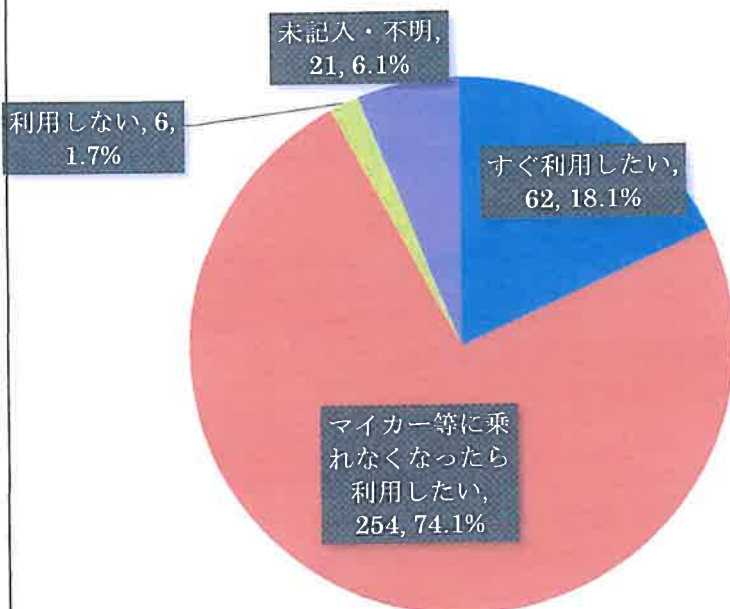
日常生活で移動手段に困っていますか



何に困っておられますか



地域交通手段が導入されたら利用しますか



交通問題解消の糸口を模索

三篠会の支援に期待

「車はあるけど運転できない」3年前の平成25年、高齢者の方々のご協力を得て、日常の交通問題に関し、現況や希望などをお聞かせいただきました。その時のお答えの一つです。何とかしなければと井原社協では解決への方策を模索していました。

白木ブロックで町全体のアンケート実施を決定

平成27年8月、安佐北区社協は、高齢者及びひとり暮らしの方々の移動手段は、年毎に深刻なことから白木地区の生活交通を確保するための取り組みと支援策の検討を目的とし、「第一回白木ブロック地域交通問題検討会議」を開催、市交通局の本題に対する支援策また情報交換。続く第二回の検討会議では、解決の手がかりとして、白木町各地区の実態を把握するためアンケート(案)を検討。平成27年末、白木町全世帯を対象に実施されました。

アンケートの結果が平成28年6月に開催された同ブロック会議で示されました。ちなみに配布された調査票は白木町全体約2900世帯。そのうち約2000世帯からの回

答を得、回収率は72%でした。そして、得られた詳細な集計結果とその取り扱いについて検討されました。例えば、交通事情の問題解決に緊急を要する地区、または近い将来問題となるだろうなど各地区により各々異なる状況がありました。

井原地区がモデル地区として一歩前へ

これらの事情を勘案した時、白木町全体で一括解決を図るより、一地区ごとに問題解決を。として、

まず、井原地区が解決の糸口とする「交通問題解決モデル地区」として提案され、了承されました。

平成28年度第一回の「井原地区交通問題検討会議」が7月、井原地区社協を含め市交通局都市交通部、地域推進課、社会福祉法人三篠会(白木地域包括支援センター)そして区社協が参加、開催されました。

三篠会からうれしい協力支援の申し出

種々情報交換がされるなかで、既に紹介されたデマンド型交通※や定時路線型交通といわれる生活交通の運行方法などの方策がとられています。解決には住民や企業などとの連携と協働が欠かせない状況にあるとされています。このような状況の中で、三篠会から問題解決に協力支援したいとの申し出

がありました。当方に異論はなく、具体的な支援策に期待することとなり、今後、アンケートの調査結果を踏まえて三篠会がどのような支援が可能か井原地区社協と話し合いを進めることになりました。

課題を解決・より良い地域へのご協力を

高齢化と過疎化が進むなか、交通問題はますます深刻になってまいります。解決へのバリアは決して低くはありません。少しずつ前に。今は運転できるからでは進みません。ご協力を。

井原地区でのアンケート結果を一部紹介いたします。聞き取りを含み全世帯の87%、343世帯からの回答を得ました。今回の調査にあたり、皆様のご協力に感謝いたします。
(※デマンド型交通とは、利用者の需要に応じて運行するやり方のこと)



開幕は井原小児童の勇壮な和太鼓で



今年は初のこころみ女子児童による フラダンス
「ちょっと間違っただけどみんながんばったので楽しかった！」
「来年もまたやりたい！」



恒例となったキャンドルナイト
今年は『幸』



地域の人みんなで盆踊り



カープの優勝を祈願してバルーン飛ばし！

福祉の灯

井原地区社会福祉協議会に対し、左記の皆様から香典返しとして、多額のご寄付をいただきました。皆様の地域福祉に対するご理解とご協力に対し厚くお礼を申し上げます。ご報告いたします。
(平成27年12月〜平成28年8月)

- | | |
|----|-------------|
| 1月 | 江地 秀夫 様 |
| 1月 | 迫田 隆博 様 |
| 1月 | 甲田 三宅 勉 様 |
| 2月 | 上市 高橋 克吏 様 |
| 2月 | 沼 小田 重夫 様 |
| 3月 | 明神 石田 信夫 様 |
| 4月 | 甲田 市川 隆治 様 |
| 4月 | 戸石 中村 宣義 様 |
| 4月 | 中市 有田 浩丞 様 |
| 5月 | 上市 伊藤 耕二 様 |
| 6月 | 中市 河野 陽介 様 |
| 6月 | 迫田 稲垣邦比古 様 |
| 7月 | 上市 田村 敦志 様 |
| 8月 | 新宮 山本美津子 様 |
| 8月 | 上甲田 小川 正明 様 |
| 8月 | 上甲田 市川富士男 様 |

あたたかい御厚志
ありがとうございます

平成28年度 行事計画 総会以降

- ・ 8月24日 いきいきサロン研修会
- ・ 9月19日 敬老祝賀会
- ・ 10月 一人暮らし高齢者の集い
- ・ 11月 福祉研修会
- ・ 2月 いきいきサロン連絡会
- ・ 2~3月 あんしんネットワーク懇談会
- ・ 4~3月(7回) つくしの会
- ・ 4~2月(4回) えくぼの会
- ・ 5~3月(5回) 母子会

《編集後記》

リオ・オリンピックでは日本選手の活躍が光りましたね。地元広島出身の山縣選手、金藤選手がメダルを取ったことはうれしいニュースでした。
真赤激のカープも優勝に向かってまっしぐら。新庄高校もよく頑張りました。
福祉のまちづくりプランで懸案であった高齢者等の交通問題に、進展の兆しが見えています。
一方、連日の猛暑日にカラカラの畑で雑草が懸命に蔓延っています。いろいろな課題がありますが、体調を整えて秋を迎えましょう。